

場面別、目的別 接着剤選定判断の例

＜この表の利用方法＞			部位	平床面、水平面の工法			
床材の要求条件、気温・湿度・通風等の環境条件、下地側の溶媒吸い込みやすさ等を考慮して最適なものを選定し、くし目ごてやオープンタイムに工夫が必要なケースも多くあります。 この選定表は、 ・好条件時 ・特定条件時の適用案であり、“適用可能な方法はひとつ”ということではありません。			下地の溶媒吸水性：種類	吸水性下地：セメント系			
			工法タイプ	一般工法			
			用途・目的・制約 等	標準	低 臭	低 温	放置床
				標準的な施工	臭気を嫌う	硬化促進させたい	施工後すぐに使われない
			接着剤に要求される性能	汎用性 安価	汎用性 安価	溶剤形／（水性形） （ ）内はやむを得ない場合	
被着体の材質区分		代表的な商品名	環境温度	15℃～	15℃～	5～15℃	15℃～
1	コンポジションタイル（単層無垢）	Pタイル、ナチュライン、ニューソフトン、ドルチェ ボタニカ等		KT/AK-S/AK	AK-S/AK	U10	U10/EP20
2	複層ビニル床タイル	マティルNW、ウッドラインNW等		AK-S/AK	AK-S/AK	U10	U10/EP20
3	複層ビニル床シート	a パーマリウムシリーズ、SRシート		AK-S/AK	AK-S/AK	U	—
		b マジェスタ、タフゾーン等		AK-S/AK	AK-S/AK	U/（AK-S/AK）	—
		c 消臭クリンセフ		AK-S/AK	AK-S/AK	U/（AK-S/AK）	—
		d クリナ		U/VG/EP20	UK※1	U/VG	—
4	単層ビニル床シート	スフィラ		SPH	SPH	U	—
5	発泡複層ビニル床シート	メディウェル、ACフロアシリーズ 28/35/60		AK-S/AK	AK-S/AK	U/（AK-S/AK）	—
6	耐候性防滑床材（ウレタン防水下地にはU、VGを推奨します）	a ビュージスタシリーズ（屋外等）		VG/U/EP20	—	VG/U/EP20	—
		b ビュージスタAQUA3.0		EP20/VG	—	EP20	—
		c ビュージスタステップ		VG	—	VG	—
7	特殊機能性ビニル床シート	a セイデンタイルC（帯電防止タイル）		EP20	—	EP20	—
		b セイデンフロア、導電フロア・LE（導電シート）、タイヤフロア・ラボプラス		EP20	—	EP20	—
		c 移動荷重用フロア類、導電フロア・DS		EP30	—	EP30	—
8	その他の床材、部材等	ガイドタイル（ゴム製点字タイル）		RV	—	RV	—
9	リノリウム	a マーモリウム		ML-SⅡ	ML-SⅡ	ML-SⅡ/U	—
		b マーモリウム タイル		U10	（ML-SⅡ）	U10	U10
10	ニードルパンチカーペット	PPカーペット等		KT	AK-S/AK	KT	—
置敷き施工の床材	置敷きビニル床タイル	レイフラットタイルシリーズ	スベリ止め剤	スベリ止め剤	（スベリ止め剤）	（スベリ止め剤）	
	カーペットタイル（ピールアップ工法）	タピス セレクトPlus等 カーペットタイル全般付加機能品も含む					
垂直面の部材	巾木類	ソフト巾木、木調巾木、ワイド巾木H300 等		—			
		ガード巾木・AC		—			
	腰壁保護材	腰壁ガード 〔 接着剤塗布には専用のクシ目（A3）を使用します 〕		—			

※ 表中のKT、AK等はそれぞれセメントKT、セメントAKを表わします。各接着剤の特性は次ページをご覧ください

—：適用接着剤なし

平床面、水平面の工法				壁面、垂直面の工法		工 法 ほ か
吸水性下地：セメント系		非吸水性下地：普通合板・金属 ^{※2} ・塗床等		吸水性：セメント系、石膏ボード 非吸水性：普通合板等		
耐水工法 上からの水がかり・キャスター負荷		非吸水工法		巾木・蹴込み・巻き上げ工法 垂直面への工法		
標 準	低 臭	低 温	反応硬化	標 準	低 臭	
標準的な 耐水工法	臭気を嫌う	硬化促進 させたい	溶媒が浸透 しない下地	垂直面への 標準的な工法	臭気を嫌う	
耐水性反応硬化型	耐水性反応硬化型			初期粘着	低臭・初期粘着 ()内はやむを得ない場合	
15℃～	15℃～	5～15℃	15℃～	15℃～	15℃～	
U10/EP20	UK ^{※1}	U10	U10/EP20	巾木用セメントS/ U10	巾木用セメントS	1
U10/EP20	UK ^{※1}	U10	U10/EP20	巾木用セメントS/ U10	巾木用セメントS	2
U/EP20	UK ^{※1}	U/VG	U/VG/EP20	巾木用セメントS/ U/VG/RV ^{※3}	巾木用セメントS	3 abcd
				U/VG	—	
U	UK ^{※1}	U/VG	U	RV/巾木用セメントS	巾木用セメントS	4
U/VG/EP20	UK ^{※1}	U/VG	U/VG/EP20	巾木用セメントS/ U/VG/RV ^{※3}	巾木用セメントS	5
VG/U/EP20	—	VG	VG/EP20	VG	—	6a
EP20/VG	—	EP20	VG/EP20	VG	—	6b
VG	—	VG	VG	VG	—	6c
EP20	—	—	金属導通あり：EP20	U10/VG	(巾木用セメントS ^{※4})	7a
EP20	—	—	EP20(導電テープ工法検討)	VG/RV ^{※3}		7b
EP30	—	—	金属：EP30 塗床・合板：—			—
(RV)	—	—	RV	RV 蹴込み部分	—	8
—	—	—	ML-SII/U (普通合板のみ)	RV/ML-SII	ML-SII	9a
—	—	—	U10	—	—	9b
U10/EP20	UK ^{※1}	—	U10/VG (市販の厚手の両面テープ)	RV ^{※3} /VG	—	10
—	—	—	スベリ止め剤 (二重床下地も同様)	(U10/VG)	—	置 敷 き 施 工 の 床 材
				巾木用セメントS/ U10	—	
—				巾木用セメントS ^{※4} /VG	巾木用セメントS ^{※4}	垂 直 面 の 部 材
—				巾木用セメントS ^{※4} /VG/RV ^{※3}	巾木用セメントS ^{※4}	
—				AK-S/巾木用セメントS ^{※4}	巾木用セメントS ^{※4}	

※1：環境配慮のため、一般的な溶剤形接着剤に比べて施工時に配慮が必要となります。

※2：サビが懸念される場合は、防錆処理が必要となります。

※3：RVは全面に使用しないでください。とくに納まりの悪い部分でご利用ください。

※4：初期粘着がより必要な場面では、巾木用セメントSを両面塗布してください。